

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学整形外科学講座、甲状腺内分泌学講座、臨床検査医学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026 年 9 月

福島県立医科大学医学部整形外科学講座 金内洋一

■ 研究課題名

福島県立医科大学附属病院における低ホスファターゼ症患者の実態調査

■ 研究期間

2026 年 10 月 ～ 2028 年 10 月

■ 研究の目的・意義

低ホスファターゼ症（Hypophosphatasia：HPP）は、骨や歯をつくるために重要な酵素であるアルカリホスファターゼ（ALP）の働きが低下することで起こる、まれな病気です。骨が弱くなる、骨折しやすくなる、骨や関節の痛みが続く、乳歯が早く抜けるなどの症状がみられることがあります。HPP は重症例ではまれな疾患ですが、症状が軽い方や成人になってから診断される方は、実際には日常診療の中に潜在している可能性があります。特に成人では、骨粗鬆症や骨軟化症、慢性的な痛み、繰り返す骨折などと症状が似ているため、診断されにくいことがあります。また、血液検査で ALP 値が低いことが特徴ですが、ALP 低値は診療上見過ごされやすく、診断の遅れにつながる可能性があります。本研究では、当院整形外科、甲状腺・内分泌内科、甲状腺・内分泌外科を受診された患者さんの診療録、血液検査結果、画像検査結果などを用いて、ALP 値が低い患者さんの頻度や症状、検査所見などの特徴を調べます。これにより、見逃されている可能性のある HPP を早期に発見するための手がかりを明らかにすることを目的としています。本研究の成果は、HPP が疑われる患者さんをより早く適切な診断や治療につなげることに役立つと考えられます。

■ 研究対象となる方

- ① 2023 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間に、福島県立医科大学附属病院整形外科、甲状腺・内分泌内科、甲状腺・内分泌外科の外来または入院で診断／治療された患者さん
- ② 18 歳以上
- ③ 対象期間内に血清 ALP が少なくとも 1 回測定されている患者さん

上記の①～③のすべてを満たす方が対象です。

■ 研究の方法

対象となる患者さんの診療情報から、性別、生年月日、年齢、受診時年齢、原疾患、既往歴（骨折歴、歯科治療歴）、身長、体重、血液検査データ（ALP, Pi など）、および画像データ（単純 X 線、CT、MRI、PET 検査、核医学検査、骨密度、骨シンチグラフィー、超音波）についてのデータを収集し、解析します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026 年 10 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学整形外科学講座であり、研究責任者は整形外科学講座金内洋一です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木 弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学整形外科学講座、甲状腺内分泌学講座、臨床検査医学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

他機関への試料・情報の提供はありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部整形外科学講座 担当：金内洋一

電話：024-547-1276 FAX：024-548-5505

e-mail：kaneuchi@fmu.ac.jp